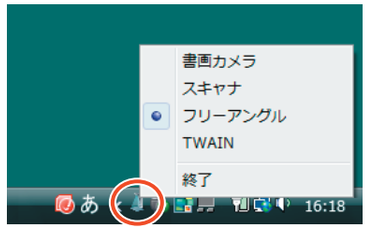
被写体をリアルタイムで投映する（フリーアングルモード）

PJ カメラのレンズがとらえた映像を、リアルタイムで投映することができます。

1 PJ カメラスタンド、パソコン、プロジェクターを接続し、パソコンとプロジェクターの電源を入れる

2 PJ カメラソフトウェアスターター 2 をクリックし、[フリーアングル] を選択する

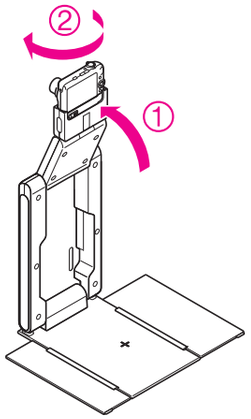


3 PJ カメラスタンドの [⏻]（電源）ボタンを押す

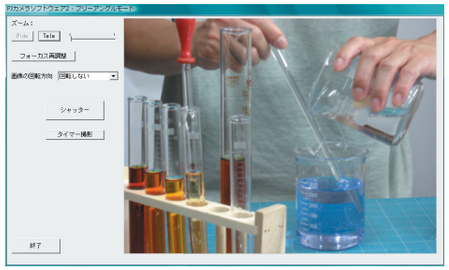
● 次のようなフリーアングルモード画面が表示されます。

4 PJ カメラスタンドのカメラ部分を引き起こし、PJ カメラを被写体の方向に向ける

カメラの向きの調整について詳しくは、YC-470 取扱説明書の「被写体をリアルタイムで投映するには」（J-36 ページ）をご覧ください。



5 モニター映像を見ながら、PJ カメラの向きを微調整する



6 必要な調整が済んだら、フリーアングルモード画面のモニター映像をダブルクリックする

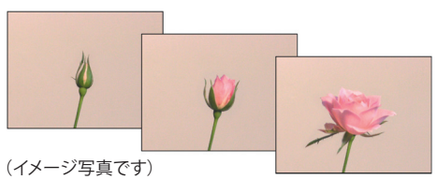
● モニター映像が、投映に適した全画面表示に切り替わります。再度ダブルクリックすると、全画面表示が解除されます。

7 PJ カメラソフトウェアの操作を終了するには、フリーアングルモード画面の [終了] ボタンをクリックする

● PJ カメラの電源が自動的に切れます。

タイマー撮影

フリーアングルモードの「タイマー撮影」機能を使うと、PJ カメラによる撮影を指定した時刻に、指定した間隔で、指定回数だけ自動的に実行することができます。例えばアサガオの開花の様子や、さなぎから蝶が羽化する過程を記録するなどの用途に活用できます。



（イメージ写真です）

タイマー撮影の操作について詳しくは、CD-ROM に収録されている「PJ カメラソフトウェア取扱説明書」をご覧ください。

TWAIN アプリケーションの利用

TWAIN 規格に対応したアプリケーションから PJ カメラを操作して、次のようなことができます。

書類などのスキャン

書類などをスキャンして、TWAIN 対応アプリケーションに画像データとして取り込むことができます。

PJ カメラのメモリーに保存されている画像データの取り込み

PJ カメラのメモリーに保存されている画像データを、TWAIN 対応アプリケーションに取り込むことができます。

TWAIN アプリケーションを利用した操作について詳しくは、CD-ROM に収録されている「PJ カメラソフトウェア取扱説明書」をご覧ください。

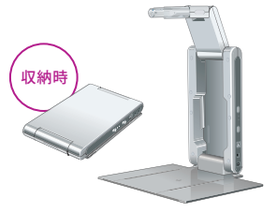
RJA518150-004　　MA0903-B　　Printed in Japan

MULTI PJ CAMERA

YC-470　クイックガイド

本ガ イドには、YC-470 の機能紹介と簡単な使い方を掲載しています。
詳細は取扱説明書をご覧ください。

http://casio.jp/projector/



CASIO

YC-470 を使うための準備

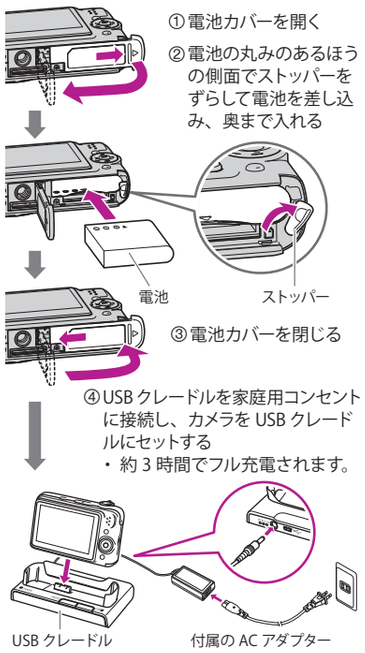
1 付属の CD-ROM をパソコンにセットし、画面の指示に従って「PJ Camera Software 2 」をインストールする

● 詳しくは YC-470 取扱説明書の「PJ カメラソフトウェアについて」（J-12 ページ）をご覧ください。

2 カメラのセットアップを行い、PJ カメラスタンドにカメラを取り付ける

● 詳しくは YC-470 取扱説明書の「MULTI PJ CAMERA のセットアップ」（J-18 ページ）をご覧ください。

1. カメラに電池をセットし、充電する



① 電池カバーを開く

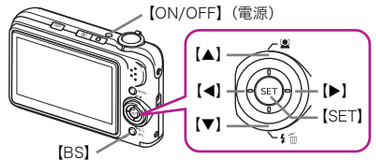
② 電池の丸みのあるほうの側面でストッパーをずらして電池を差し込み、奥まで入れる

③ 電池カバーを閉じる

④ USB クレードルを家庭用コンセントに接続し、カメラを USB クレードルにセットする

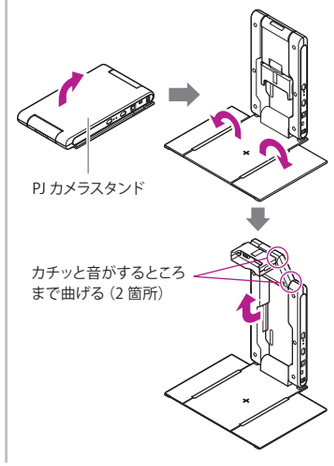
・ 約 3 時間でフル充電されます。

2. 日付時刻を合わせる

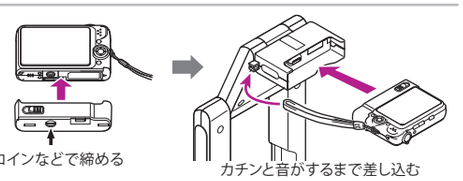


①【ON/OFF】を押して電源を入れる
②【▲】【▼】【▶】【◀】で “日本語” を選び、【SET】を押す
③【▲】【▼】【▶】【◀】で日本のエリアを選び、【SET】を押す
④【▲】【▼】で “Tokyo” を選び、【SET】を押す
⑤【▲】【▼】で “切” を選び、【SET】を押す
⑥【▲】【▼】で日付の表示形式を選び、【SET】を押す
⑦ 日付と時刻を合わせる
・【BS】を押すと 12 時間 /24 時間表示が切り替わります。
⑧【SET】を押す

3. PJ カメラスタンドを開く

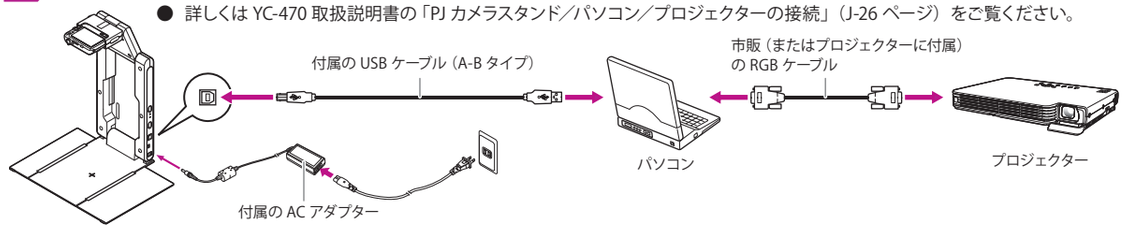


4. スタンドにカメラをセットする



3 PJ カメラスタンド、パソコン、プロジェクターを接続する

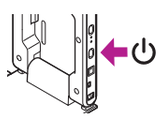
● 詳しくは YC-470 取扱説明書の「PJ カメラスタンド／パソコン／プロジェクターの接続」（J-26 ページ）をご覧ください。



4 PJ カメラスタンドの [⏻]（電源）ボタンを押す

● パソコンの画面に新しいハードウェアに必要なソフトウェアのインストールを促すダイアログが表示されるので、ダイアログの指示に従ってインストールを行います。Windows Vista で「不明なドライバソフトウェアをオンラインで検索しますか?」と表示されたら、「オンラインで検索しません」をクリックしてください。Windows XP で「ソフトウェア検索のため、Windows Update に接続しますか?」と表示されたら、「いいえ、今回は接続しません」を選択して [次へ] ボタンをクリックしてください。

● インストールが完了すると、PJ カメラソフトウェアが「書画カメラモード」で起動します。引き続き書画カメラの操作を試したい場合は、「書類を投映する（書画カメラモード）」の手順 4 以降をご覧ください。



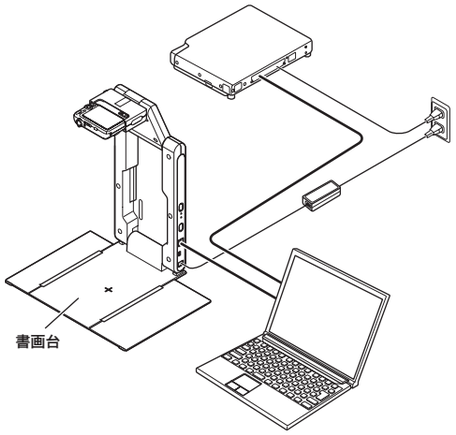
5 PJ カメラソフトウェアを終了するには、メニューバーで [ファイル] → [終了] を選択する

● PJ カメラの電源が自動的に切れます。

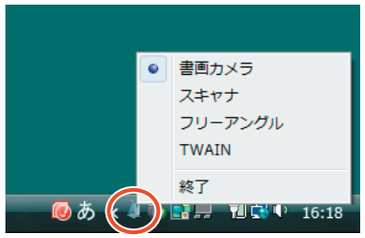
書類を投映する（書画カメラモード）

書画台に置いた書類などを自動撮影（または手動で撮影）した高解像度画像を、パソコンに接続したプロジェクターで投映できます。
下記の手順は、PJ カメラソフトウェアを初期設定（＝自動撮影）で使ったときの操作例です。

1 PJ カメラスタンド、パソコン、プロジェクターを接続し、パソコンとプロジェクターの電源を入れる



2 PJ カメラソフトウェアスターター2 をクリックし、[書画カメラ] を選択する

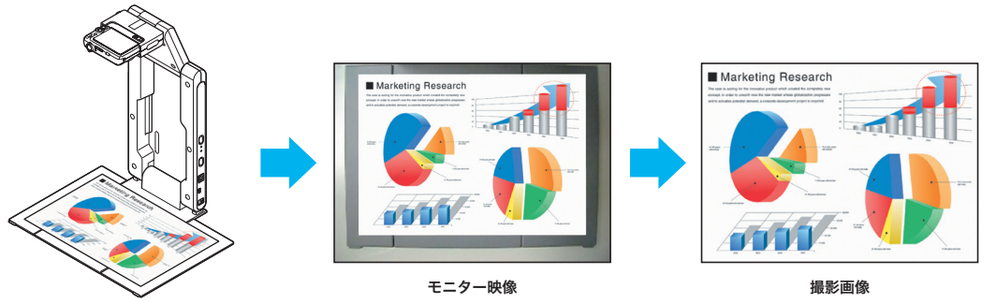


3 PJ カメラスタンドの [⏻]（電源）ボタンを押す

● PJ カメラソフトウェアが「書画カメラモード」で起動して、自動的にカメラ調整が行われます。

4 書画台に投映したい書類を載せる

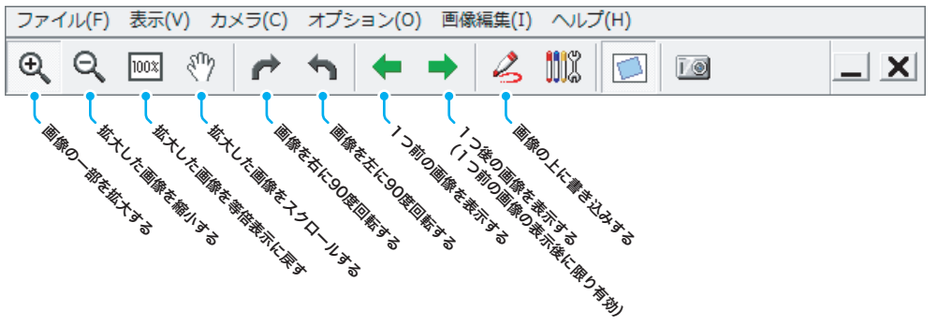
● 自動的にカメラによる撮影が行われ、高解像度の画像（撮影画像）が投映されます。



モニター映像　　撮影画像

5 別の書類を投映するには、書画台の書類を差し替える

● 差し替えた書類が自動的に投映されます。投映中はツールバーのボタンを使って次の操作ができます。



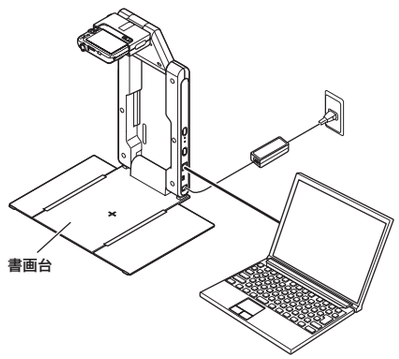
6 PJ カメラソフトウェアの操作を終了するには、メニューバーで [ファイル] → [終了] を選択する

● PJ カメラの電源が自動的に切れます。

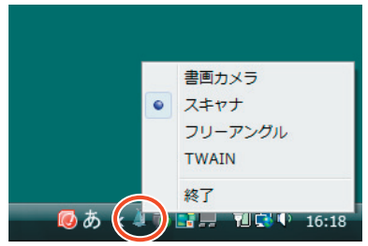
書類をスキャンする（スキャナモード）

書画台に置いた書類などを自動または手動でスキャンし、高解像度の画像データとしてパソコンに保存できます。下記の手順は、
PJ カメラソフトウェアを初期設定（＝スキャンを自動実行）で使ったときの操作例です。

1 PJ カメラスタンドとパソコンを接続し、パソコンの電源を入れる



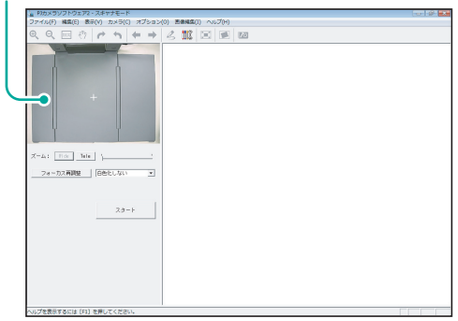
2 PJ カメラソフトウェアスターター2 をクリックし、[スキャナ] を選択する



3 PJ カメラスタンドの [⏻]（電源）ボタンを押す

● PJ カメラソフトウェアが「スキャナモード」で起動して右のような画面が表示され、自動的にカメラ調整が行われます。

書画台のモニター映像

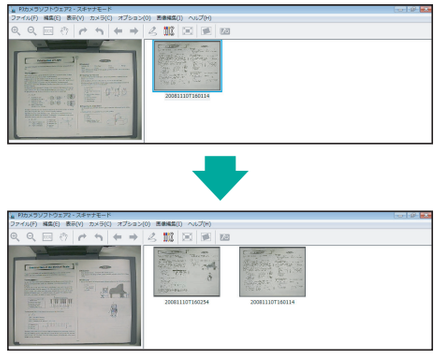


4 [スタート] ボタンをクリックしてから、スキャンしたい書類を書画台に載せる

● 自動的にスキャンが実行され、スキャンされた画像のサムネイル（縮小画像）がプレビュー一覧エリアに追加されます。

5 プレビュー一覧エリアにサムネイルが追加されるのを待って、書画台の書類を別の書類に差し替える

● 書類を差し替えるたびにスキャンが自動的に実行され、
そのつどプレビュー一覧エリアにサムネイルが追加されます。



6 書類のスキャンを終えたら、[ストップ] ボタンをクリックする

7 PJ カメラソフトウェアの操作を終了するには、メニューバーで [ファイル] → [終了] を選択する

● PJ カメラの電源が自動的に切れます。